

ユーザが登録できなくなる障害対応 参考資料

目次

1 はじめに.....	3
2 前提条件.....	3
3 ユーザが登録できない WAR ファイルをデプロイする	3
3.1. WAR ファイルをコミットする.....	3
3.2. PUPPET が配布できる場所に WAR ファイルを配置する	4
3.3. デプロイを実施する	4
4 WEB ブラウザからの確認.....	5
4.1. BROWSER サーバにログイン.....	5
4.2. HOSTS の設定.....	6
4.3. 掲示板アプリケーションの確認	6
4.4. 掲示板でユーザ登録処理を行う.....	6
4.5. メール送信エラーが発生している事を確認する	7
4.6. メールドメインの設定箇所を確認する.....	7

図表目次

図 1VNC の接続先サーバの設定	5
図 2VNC のパスワード入力	5
図 3スクリーンセーバ	5
図 4 疑似メールシステム(メールがありません)	6

1はじめに

本書は、ユーザが登録できなくなる障害に対応するため、障害の内容を確認する手順を記述している。

この手順書における作業は全てデプロイサーバで行う。

2前提条件

- より高度なアプリケーションの配布がデプロイサーバで自動化されていること
 - そのファイルが「/root/work/deploy/task/graceful_deploy_war.sh」に配置されていること
- 更新対象の war ファイルが用意されていること

3ユーザが登録できない war ファイルをデプロイする

ユーザが登録できない war ファイルとして、「**error**」を利用する。

3.1.war ファイルをコミットする

Subversion をチェックアウトしたディレクトリに移動する。

```
deploy# cd /var/tmp/keijiban/
```

更新対象の war ファイルをコピーする。

```
deploy# cp -p /var/tmp/wars/error/keijiban.war keijiban.war
```

Subversion の状態を確認する。

```
deploy# svn status
```

実行結果

```
M      keijiban.war
```

Subversion をコミットする

```
deploy# svn commit -m 'error'
```

実行結果

```
Sending      keijiban.war
Transmitting file data .
Committed revision 5.
```

3.2.Puppet が配布できる場所に war ファイルを配置する

作業ディレクトリに移動

```
deploy# cd /var/tmp/
```

Subversion から war ファイルを export する。

```
deploy# svn export svn+ssh://localhost/root/work/repos/keijiban/keijiban.war ¥  
/var/tmp/keijiban.war
```

実行結果

```
A    /var/tmp/keijiban.war  
Export complete.
```

3.3.デプロイを実施する

作業ディレクトリに移動

```
deploy# cd /root/work/deploy
```

スクリプトを用いて、Web サーバに war ファイルをデプロイする。

```
deploy# task/graceful_deploy_war.sh
```

実行結果

```
old_instances: i-XXXXXXX  
launch instance: i-YYYYYYY  
(中略)  
I, [2012-03-25T15:24:04.800226 #4031] INFO -- : New RightAws::Ec2 using single-  
threaded mode  
I, [2012-03-25T15:24:04.800799 #4031] INFO -- : Opening new HTTPS connection to  
vclc0006.ecloud.nii.ac.jp:8773  
terminate instances i-XXXXXXX
```

4エラーが発生することを確認する

4.1.browser サーバにログイン

Windows の「スタート→すべてのプログラム→RealVNC→VNC ビューワ4→VNC ビューワの起動」を実行する。

「サーバ名」に「browserサーバのパブリックIP:1」を入力し「OK」ボタンをクリックする。

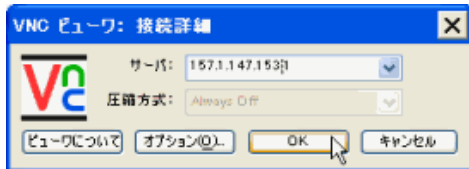


図 1VNC の接続先サーバの設定

「パスワード」に「1qaz2wsx」を入力し、ログインする。

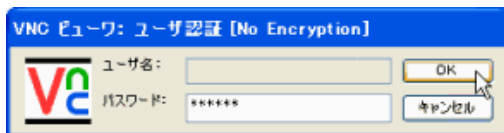


図 2VNC のパスワード入力

スクリーンセーバが起動していて、パスワードが求められる場合は「1qaz2wsx」を入力します。

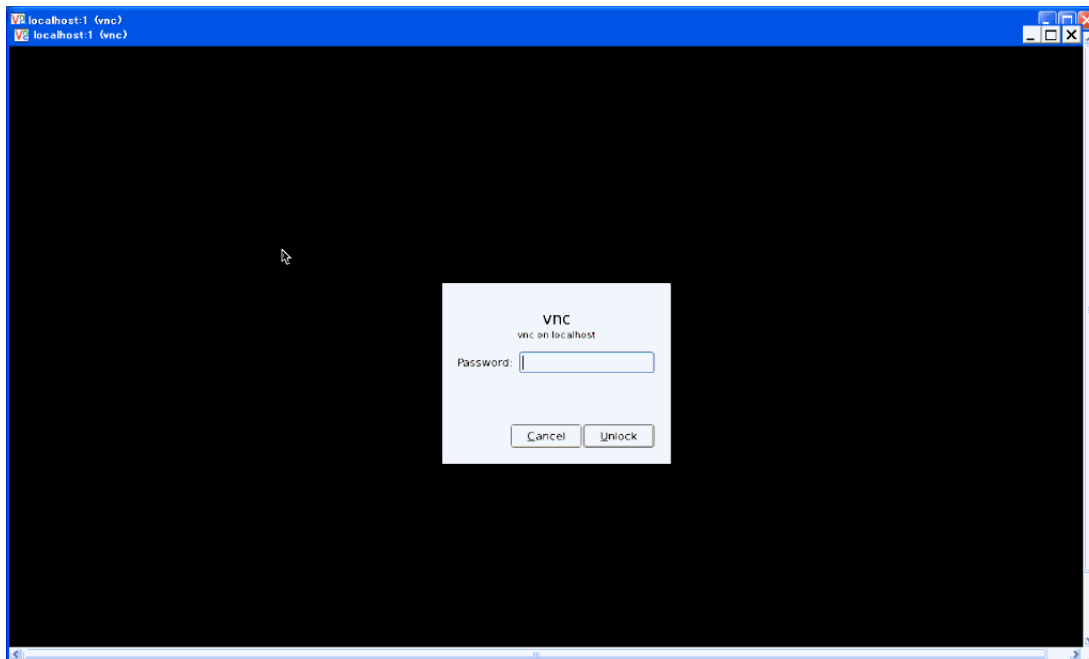


図 3スクリーンセーバ

4.2.hosts の設定

掲示板アプリケーションのアクセスするために/etc/hosts に lb サーバと mail サーバの IP アドレスを記述する。

lb サーバと mail サーバのプライベート IP アドレスの確認をする。

```
browser$ sudo vi /etc/hosts
```

確認内容

```
{/lb サーバのプライベート IP} lb.nii.localdomain  
{/mail サーバのプライベート IP} mail.nii.localdomain
```

4.3.掲示板アプリケーションの確認

browser サーバ上の Firefox を起動しブックマークから掲示板アプリケーションにアクセスし動作の確認をします。

ブックマークからアクセスするのは以下の URL になっています。

```
http://lb.nii.localdomain/keijiban/top
```

画面上部が「掲示板 (error)」となっていれば、デプロイ完了である。

4.4.掲示板でユーザ登録処理を行う

browser サーバ上の Firefox で掲示板のユーザ登録を行い、メールの画面に遷移する。
本来送信されているはずのメールが存在しないため、メールがない旨の画面が表示される。

疑似メールシステム

mail@example.comのメール一覧

メールがありません。

図 4 疑似メールシステム(メールがありません)

4.5. メール送信エラーが発生している事を確認する

TOMCAT のログに MAIL_ERROR が発生しているか確認する

```
deploy# mco shellcmd --cmd="grep MAIL_ERROR /var/log/tomcat6/catalina.out" -I /^web/ -v
```

実行結果

```
* [ ======> ] 1 / 1

[web. i-462D0762. nii. localdomain] exit=0:
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
2012-03-28 10:46:11,866 [TP-Processor3] ERROR org.apache.log4j.ConsoleAppender -
MAIL_ERROR
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
[context]org.apache.struts.validator.STOP_ON_ERROR.=true
```

アプリケーションがメール接続エラー発生時に「MAIL_ERROR」とログに吐き出すように作られている。

4.6. メールドメインの設定箇所を確認する

メールドメインの設定箇所を確認する。

```
deploy# mco shellcmd --cmd="cat /var/lib/tomcat6/webapps/keijiban/WEB-INF/classes/systemConfig.properties" -I /^web/ -v
```

実行結果

```
* [ ======> ] 1 / 1

[web. i-462D0762. nii. localdomain] exit=1:
mailServer.protocol = http://
mailServer.host = mail.nii.local.domain
mailServer.path = /user/sendmail
```

mail.nii.localdomain となるべきところが、mail.nii.local.domain となっている。
そのため、メールサーバに接続できずエラーになっているとわかる。